

入場無料

わたしたちをつなぐ、  
おいしくてあったかい記憶

きっと  
“食育”の「原点」に出会える…

# はなちゃんのみそ汁

広末涼子 滝藤賢一

一青窈 紺野まひる 原田貴和子 春風ひとみ 遠河はるひ 豊松えみな(7歳)  
平泉 成 木村理恵 北見敏之 高畑淳子  
鶴見辰吾 / 森井英和 / 宮谷一行

原作:安武信吾・千恵・はな「はなちゃんのみそ汁」(文芸春秋)

監督:岡本潤久(福岡)

主題歌:一青窈「満点星」(ユニバーサルミュージック/EMI Records)

企画:村岡英彦 プロデューサー:堀本和隆 / 黒尾星矢 / 島根祥子

撮影:寺田輝輝(AGC) 監修:鈴木康介 録音:本田茂 美術:丸尾知行 監製:横山浩之

特別協賛: 東京生命健康相互社

協賛:  パンタックス株式会社  フィルムパートナーズ株式会社

原作「はなちゃんのみそ汁」フィルムパートナーズ(ブルーフィールド/東京タワース/富澤洋子/東京タワース/東京タワース)

制作プロダクション:ブルーフィールド 監修:宮田信吾(アトル) (東京タワース70周年記念作品)

2018年/日本/デジタル/110分/ヴィスタ/カラー/8.1ch ©2018「はなちゃんのみそ汁」フィルムパートナーズ

hanamiso.com 文部科学省認定(成人向け、家庭向け)

がんでこの世を去った千恵、33歳。5歳の娘と夫、愛する人へ伝えたい、いのちのメッセージ。  
あなたは子どもに何をのこせますか？

夏休み特別映画上映会 (二回上映・先着700席)

平成 29 年 8 月 12 日 (土曜日) ①13:00~15:00 ②16:00~18:00

場所: 読谷村文化センター 鳳ホール

# 食べることは 生きること。



## 日本中が涙した! ベストセラー実話エッセイを映画化!

広末涼子×滝藤賢一×赤松えみな×青窈、豪華キャストの幸せなアンサンブル

がんがこの世を去った千恵、33歳。5歳の娘と夫、家族との日々をつづったブログを基にしたエッセイ「はなちゃんのみそ汁」は2012年に発売されるやいなや、常にひたむきな明るさで生きる安武一家の姿が日本中で大きな話題を呼び、関連書籍やテレビドラマ化、教科書への採用など社会現象を巻き起こし、このたびついに映画化。結婚、妊娠、出産と人生の転機をがんと闘い、食を大切に生きてきた千恵を演じるのは、広末涼子。夫・信吾を今や日本映画界になくてはならない滝藤賢一が演じ新境地を見せている。娘・はなは、1,000人超のオーディションで選ばれた演技経験ゼロの新星・赤松えみなが

演じる。また彼女たちを見守る家族や仲間として、鶴見辰吾、赤井英和、古谷一行、高畑淳子、平泉成といった豪華面々による競演が実現した。2013年キネマ旬報ベストテン日本映画第一位に輝いた「ペコロスの母に会いに行く」で脚本を担当した阿久根知昭が、本作でも脚本を務め初のメガホンを握る。主題歌を担当するのは生前に千恵さんが好きだった歌手、一青窈。本作のために書き下ろしたオリジナル曲「満点星」を優しく強く歌いあげる。「私はツイていた」と前向きに生きる千恵たちの姿が、この冬日本をあたたかい涙で包みこむ。



## ちゃんと作る、ちゃんと食べる——大切な家族へ、愛するひとへ伝えたい、いのちのメッセージ

恋人との何不自由ない幸せを夢見ていた千恵はある日、乳がんを宣告される。見えない不安に怯える千恵に信吾は優しく寄り添いプロポーズをする。こうして2人は晴れて夫婦となった。抗がん剤治療の影響で卵巣機能が低下、出産をあきらめていた千恵だが、ある時妊娠していることが分かる。産むか産まないか——産むということはがんの再発リスクが高まり、自らの命が危険にさらされるということだった。

周りの支えで命を懸けて産むことを決意し、はなを無事出産。しかしながら、家族3人、幸せな日々は長くは続かず、千恵を再び病魔が襲い、残り少ない命を覚悟。私がいなくなってもはなが暮らしていけるようにと、千恵は細部を削って作るところから始めるみそ汁など料理や家事の大切さを教えはじめる。彼女たちのおいしくてあったかい、かけがえのない日々が続いていく。



夏休みにこの映画を観ることで「いのちのメッセージ」を受け取り、「ちゃんと作る」「ちゃんと食べる」をご家庭での合言葉にしてみませんか?

読谷村PTA連合会も、「小学校入学式でのお味噌汁の試食」や「お弁当の日」の開催を通して、“食に対する力を育むこと”を目標に活動しています!

主催：読谷村学力向上推進協議会「家庭教育部会」・「地域教育部会」

問い合わせ先：読谷村教育委員会 生涯学習課 982-9231 (平日のみ)

読谷村PTA連合会 958-4826 (月・水・金 午前のみ)